

【企業動向調査（建設業）概況】

2026年1月～3月期の企業動向調査（市内建設業39社）を行った結果、業況判断指数D Iは▲ 15.8ポイントとなりました。

前期調査結果（2025年10月～12月：21.1ポイント）と比較して36.9ポイント悪化しました。

その他経営上の問題については、「原材料や部材の高騰」「原材料不足」「受注の減少」などの意見がありました。

1 業種別の業況判断前期比D I

業種	前期比D I	前期との差
土木関係	▲ 75.0	▲ 125.0
建築関係	16.7	▲ 8.3
電機関係	▲ 33.3	▲ 33.3
水道関係	33.3	▲ 16.7

2 業種別の次期予想D I（2026年4月～6月）

次期予想は▲ 52.6ポイントで、今期調査結果(▲ 15.8)より、36.8ポイント悪化する予想となりました。

業種	次期予想D I	今期との差
土木関係	▲ 75.0	0.0
建築関係	0.0	▲ 8.3
電機関係	▲ 66.7	▲ 33.4
水道関係	▲ 100.0	▲ 133.3

3 経営上の主な問題点

	問題点	割合
1位	原材料・仕入品単価の上昇	84.2%
2位	原材料不足	57.9%
3位	受注の減少	47.4%
4位	人材不足（技術者等質的なもの）	36.8%
5位	労働力不足（量的なもの）	26.3%
5位	技術力の不足	26.3%

企 業 動 向 調 査

【 2026 年 1 月～ 3 月 期 < 1 期 > 】

【 調 査 概 要 】

須坂市産業振興部産業政策課では、市内建設業の景気動向を探る手段として、年 4 回市内企業を対象にアンケート調査を実施している。

今回は 2026 年 1 月～ 3 月 期 < 1 期 > の業況について調査した。

【 調 査 実 施 要 領 】

実施時期 2026 年 4 月

対象企業 須坂市内または事業所を有する建設業企業 39 社

回答企業数 19 社 (回答率 48.7%)

【 調 査 結 果 】

自社業況判断 (D I = 好転 - 悪化)

	好転	悪化	D I	比較
前期比	10.5% (前期 31.6%)	26.3% (前期 10.5%)	▲ 15.8	前期より 36.9 ポイント悪化
前年同期比	15.8% (前期 31.6%)	21.1% (前期 10.5%)	▲ 5.3	前期より 26.4 ポイント悪化
次期予想	5.3%	57.9%	▲ 52.6	今期より 36.8 ポイント悪化と予想

受注引合 (D I = 増加 - 減少)

	増加	減少	D I	比較
前期比	10.5% (前期 15.8%)	31.6% (前期 21.1%)	▲ 21.1	前期より 15.8 ポイント減少
前年同期比	10.5% (前期 15.8%)	31.6% (前期 21.1%)	▲ 21.1	前期より 15.8 ポイント減少
次期予想	0.0%	47.4%	▲ 47.4	今期より 26.3 ポイント減少と予想

生産量 (D I = 増加 - 減少)

	増加	減少	D I	比較
前期比	6.3% (前期 27.8%)	18.8% (前期 16.7%)	▲ 12.5	前期より 23.6 ポイント減少
前年同期比	18.8% (前期 27.8%)	12.5% (前期 22.2%)	6.3	前期より 0.7 ポイント増加
次期予想	5.9%	41.2%	▲ 35.3	今期より 22.8 ポイント減少と予想

原材料単価 (D I = 低下 - 上昇)

	低下	上昇	D I	比較
前期比	0.0% (前期 0.0%)	100.0% (前期 68.4%)	▲ 100.0	前期より 31.6 ポイント 悪化
前年同期比	0.0% (前期 0.0%)	100.0% (前期 84.2%)	▲ 100.0	前期より 15.8 ポイント 悪化
次期予想	0.0%	100.0%	▲ 100.0	今期より 0.0 ポイント 好転と予想

資金繰り (D I = 好転 - 悪化)

	好転	悪化	D I	比較
前期比	11.1% (前期 11.1%)	11.1% (前期 11.1%)	0.0	前期より 0.0 ポイント 好転
前年同期比	11.1% (前期 11.1%)	11.1% (前期 11.1%)	0.0	前期より 0.0 ポイント 好転
次期予想	5.6%	11.1%	▲ 5.5	今期より 5.5 ポイント 悪化と予想

所定外労働時間 (D I = 増加 - 減少)

	増加	減少	D I	比較
前期比	5.3% (前期 15.8%)	26.3% (前期 15.8%)	▲ 21.0	前期より 21.0 ポイント 減少
前年同期比	10.5% (前期 21.1%)	15.8% (前期 15.8%)	▲ 5.3	前期より 10.6 ポイント 減少
次期予想	0.0%	31.6%	▲ 31.6	今期より 10.6 ポイント 減少と予想

収益率 (D I = 上昇 - 低下)

	上昇	低下	D I	比較
前期比	5.3% (前期 21.1%)	47.4% (前期 21.1%)	▲ 42.1	前期より 42.1 ポイント 低下
前年同期比	15.8% (前期 15.8%)	42.1% (前期 36.8%)	▲ 26.3	前期より 5.3 ポイント 低下
次期予想	0.0%	63.2%	▲ 63.2	今期より 21.1 ポイント 低下と予想

経営上の問題点（複数回答）

	問題点	割合	前回比較
1位	原材料・仕入品単価の上昇	84.2%	→
2位	原材料不足	57.9%	↑
3位	受注の減少	47.4%	↑
4位	人材不足（技術者等質的なもの）	36.8%	↓
5位	労働力不足（量的なもの）	26.3%	↓
5位	技術力の不足	26.3%	↑
7位	同業他社との競争激化	10.5%	↓
7位	金融難	10.5%	↑
9位	人員過剰	0.0%	→
9位	納期の短縮	0.0%	→

※ 「↑」 前回の順位から上昇 「→」 前回の順位から変動なし
「↓」 前回の順位から下降

業種別自社業況判断／土木関係

	好転	悪化	D I	比較
前期比	0.0% (前期 50.0%)	75.0% (前期 0.0%)	▲ 75.0	前期より 125.0 ポイント悪化
前年同期比	0.0% (前期 25.0%)	25.0% (前期 25.0%)	▲ 25.0	前期より 25.0 ポイント悪化
次期予想	0.0%	75.0%	▲ 75.0	今期より 0.0 ポイント好転と予想

業種別自社業況判断／建築関係

	好転	悪化	D I	比較
前期比	16.7% (前期 25.0%)	0.0% (前期 0.0%)	16.7	前期より 8.3 ポイント悪化
前年同期比	33.3% (前期 50.0%)	0.0% (前期 0.0%)	33.3	前期より 16.7 ポイント悪化
次期予想	16.7%	16.7%	0.0	今期より 16.7 ポイント悪化と予想

業種別自社業況判断／電機関係

	好転	悪化	D I	比較
前期比	0.0% (前期 14.3%)	33.3% (前期 14.3%)	▲ 33.3	前期より 33.3 ポイント 悪化
前年同期比	0.0% (前期 0.0%)	50.0% (前期 14.3%)	▲ 50.0	前期より 35.7 ポイント 悪化
次期予想	0.0%	66.7%	▲ 66.7	今期より 33.4 ポイント 悪化と予想

業種別自社業況判断／水道関係

	好転	悪化	D I	比較
前期比	33.3% (前期 50.0%)	0.0% (前期 0.0%)	33.3	前期より 16.7 ポイント 悪化
前年同期比	33.3% (前期 75.0%)	0.0% (前期 0.0%)	33.3	前期より 41.7 ポイント 悪化
次期予想	0.0%	100.0%	▲ 100.0	今期より 133.3 ポイン ト悪化と予想

Q9 日銀松本支店が4月1日に発表した、企業短期経済観測調査(短観)によると、全産業の業況判断指数(DI)は、前回調査(12月)と比較して、5ポイントプラスとなりました。製造業は、プラス1ポイントと4ポイント好転、非製造業は、プラス20ポイントと4ポイント好転しました。自社の景況感をどのように感じておられますか。

好転している	8.3%
好転している	5.3%
今はないが、今後好転が見込まれる	5.3%
変わらない	36.8%
今はないが、今後悪化が見込まれる	26.3%
悪化している	26.3%

※四捨五入の関係で、合計が100にならない場合があります。

Q10 3月以降、中東情勢緊迫化により原油価格の高騰が続いており、原材料など価格高騰も継続していますが、貴社の事業にどの程度影響が出ていますでしょうか。

大きな影響が出ている	52.6%
影響が出ているが大きくはない	21.1%
影響は出ていない	0.0%
今後、影響が見込まれる	21.1%

Q11 影響が出ているのはどの分野ですか。(複数回答可)

燃料費（ガソリン、軽油等）	63.2%
輸送費（運送費等）	31.6%
光熱費（電気代等）	26.3%
原材料費	94.7%
梱包資材費	10.5%
その他	10.5%

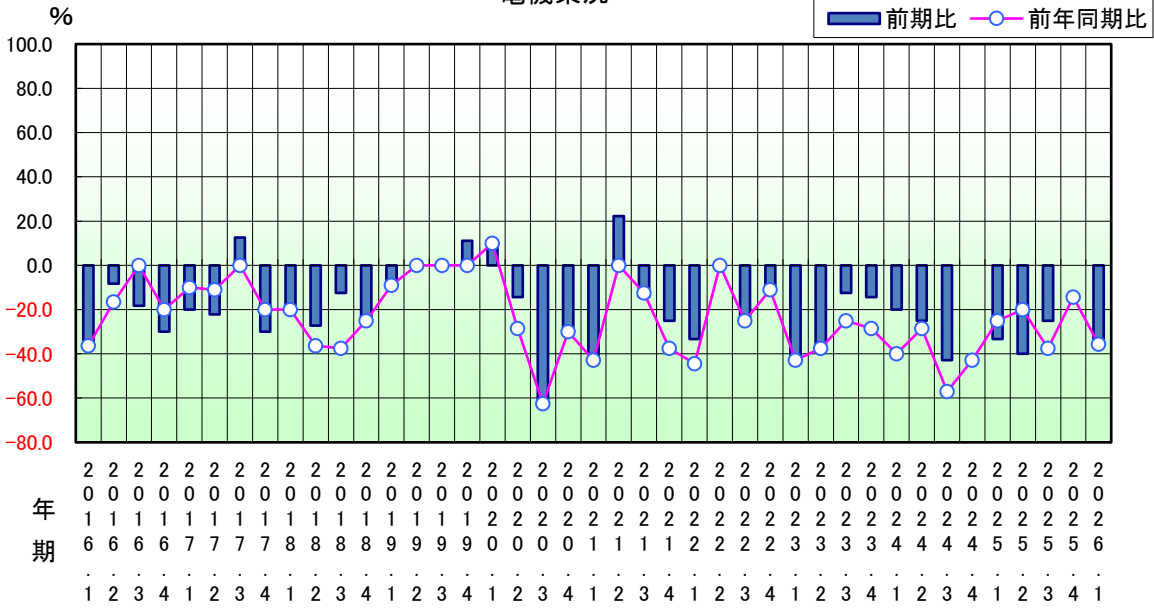
Q12 11で「⑥その他」とお答えになられた方、どのような分野で影響が出ているかご記入ください。

- オイルの不足、グリスの不足、塗料の不足、塩ビパイプの不足
- 商品の買い占め等発生しているようです
- 材料の仕入難

Q13 その他経営上の問題についてあれば、ご記入ください。

- 高齢化
- 今期は暇な時期なのに、今年はたまたま仕事があった。今後は予想がつかないが何とかしのげるでしょう。
- 先行きの景気が読めない。良くなると思えない。
- 前回と同じです。
- 建材やユニットバス等の住設機器の納期の目途がたたず、着工できない工事案件が多い。
- 人手不足 資材価格の高騰 労務費（人件費）の上昇
コスト上昇分を工事価格に転嫁しにくいのが課題
- インフレによる仕事量の低下
- 私本人の高齢化（病気含む）による、気力体力の無さ

電機業況



水道施設業況

